

ワックンカルタで 鶴見を散歩

～旧東海道と鶴見川～



発行：鶴見区役所 企画・編集「魅力づくりの会」



ランナーが
たすきをつなぐ
箱根駅伝中継所

お正月恒例で人気のある箱根駅伝の往路1区から2区、復路9区から10区への中継所は国道15号線の市場交番前の歩道橋下に設けられます。小旗を振る人たちが治道にあふれ、熱い声援を送ります。地元の人たちも近くの公園にテントを張り、選手や関係者をあたたかく応援しています。近くには「花の2区」をたたえるランナー像が平成9年（1997）に建てられました。



鶴見川
夏の夜は
花火大会

鶴見川は、多摩丘陵の山中を源流とし東京湾へと流れる、全長42.5kmの横浜市唯一の1級河川です。むかしは氾濫や洪水を繰り返す暴れ川でしたが、近年は堤防も整備されて川沿いには散策路もでき、憩いの場になっています。昭和62年（1987）に区民の手づくりではじめられた花火大会（現在の鶴見川サマーフェスティバル）は、たくさんの人でにぎわう鶴見の夏の風物詩です。



笑顔です
わっくんひろばの
帰り道

「わっくんひろば」は、平成21年（2009）3月に開設された鶴見区地域子育て支援拠点です。就学前のお子さんとその保護者が遊んだり、交流しながら、ゆつくり過ごせるひろばです。子育てアドバイザーに、さまざまな相談も気軽にできる、親と子が「ホッ」とくつろげる自由な場所です。



よねまんじゅう
鶴見名物
おいしいね

江戸の昔、東海道の鶴見橋（現鶴見川橋）は景色もよく橋の両側はいろいろなお店にぎわっていました。その中でも、名物のよねまんじゅうを売る店は、多いときには40軒もあったそうです。普通まんじゅうは小麦粉で作られますが、よねまんじゅうは米粉を使っていたので腹もちがよく、街道を歩く旅人に喜ばれたそうです。今でも鶴見名物として愛されています。



昔も今も
みんなを見守る
ぼてふり地藏

江戸後期、生麦の河岸から寺尾や末吉にアサリや魚を天秤棒で担ぎ、売り歩いた「ぼてふりさん」たちが、三角の地で一休みし、「良き商いができるように」と手を合わせて地藏を倒し、帰りに再び起こして願きをしたといわれています。昭和20年（1945）の大空襲により台座のみ残りました。つくの商店街の人々により、平成15年（2003）に再建立されて、現在は地域のシンボルとなっています。



田祭りに
昔をおもう
鶴見神社

鶴見神社に伝わる田祭りは、五穀豊穡・子孫繁栄を願う行事として鎌倉時代から毎年お正月に行われてきました。明治維新後百年間途絶えていましたが、稲作文化を伝える貴重な伝統行事・民俗芸能として、昭和62年（1987）に復活再興されて以来、現在は毎年4月29日に行われています。早乙女や子牛の役として小中学生も参加しています。

●「ワックン鶴見カルタ」とは
「鶴見を好きになってほしい！」鶴見の魅力伝える
目的で、鶴見まちづくり推進会議（魅力づくり部会
街の魅力企画班）が企画しました。

平成21年度に鶴見にちなんだ読み札を公募し、応募
総数1,031から45枚を決定しました。

それぞれの読み札にあった絵札を、区民ボランティ
アの皆さんに描いていただき、鶴見区の魅力・鶴見ら
しさを織り込んだ区民手作りの「ワックン鶴見カル
タ」が22年度に完成しました。

そのカルタで紹介された場所の一部を、お散歩マッ
プにしました。

●どこで体験できるの？
鶴見区内の地区センターやコミュニティハウスで体
験することができます。鶴見区役所にて、イベント用
にカルタやバトルシートの貸出しもしています。



発行：平成26年10月
横浜市鶴見区役所地域振興課 横浜市鶴見区鶴見中央3-20-1
電話：045-510-1687～1689 FAX：045-510-1892
Eメール tr-chishin@city.yokohama.jp
ウェブサイト <http://www.city.yokohama.lg.jp/tsurumi/kanko/midokoro/sansaku.html>